

福岡県学生会館照明設備 LED 化改修工事 特記仕様書

1 業務の目的

福岡県学生会館の既設照明設備について、LED 照明器具への交換又は安定器撤去を伴う LED ランプへの交換により LED 化を行い、消費電力の削減に伴う温室効果ガスの排出量削減及び維持管理性の向上を図ることを目的とする。

2 適用範囲

本仕様書は「福岡県学生会館照明設備 LED 化改修工事」に適用する。

3 概要

(1) 履行場所

福岡県学生会館（神奈川県横浜市青葉区荏田西 1 丁目 1 4 - 2）

（構 造） 鉄筋コンクリート 5 階建

（延床面積） 3, 9 8 8. 4 m²

（寮 生 室） 1 5 0 室（1 2. 4 m²） 男子寮：1 0 0 室、女子寮：5 0 室

（共用施設） 食堂、図書室兼会議室、洗濯室、洗面室、浴室、トイレ

(2) 工事対象物件

福岡県学生会館に既存する全ての照明器具本体（ランプ含む）及び付属品、その他設置に必要な資材等一式

(3) 数量及び設置場所

別紙 1 「LED 照明仕様一覧表（以下、別紙 1 とする。）」のとおり

(4) 工事期間

契約締結の日から令和 9 年 2 月 2 8 日まで

(5) 事前調査

別紙 1 に記載の数量等は、主に担当職員による記載であり、施設の現況と一致しない場合がある。そのため、入札参加者は、入札前に可能な限り現地調査を実施し、現場条件及び既設設備の状況を確認のうえ適切に積算に反映すること。

なお、当該調査は参考情報の取得を目的とするものであり、発注者は調査結果に基づく仕様変更及び契約内容の変更は行わない。

ただし、発注者の指示による仕様変更があった場合又は予見し得ない現場条件の著しい相違が認められた場合は、この限りでない。

4 LED 照明器具の仕様

(1) 共通

- ア 照明器具、光源 (LED)、付属品は新品であること。
- イ 別紙 1 の参考型番は性能水準を示すものであり、同等以上の性能を有する製品の調達を妨げるものではないこと。
なお、参考型番は公告日時点での製品情報によるものであり、同等以上の性能を有する後継機種等への変更は、発注者の承認により認めるものとする。
- ウ 調達する LED 照明器具は、別紙 1 に示す器具光束、定格消費電力、交換方式に適合すること。規定性能を満たさない照明器具の入札および設置は認めない。
- エ 同等品として、別紙 1 の規定を満たしたうえで、器具光束は規定値以上、定格消費電力は規定値以下であり、配光特性及び演色性は参考型番と同等以上の照明品質を有する製品、相関色温度は参考型番と同等の製品を認める。性能の判定は 100% 点灯時の公称値によるものとし、調光による調整は認めない。
- オ 使用する全ての照明器具は、JIL5004「公共施設用照明器具」の「ベースライト形」「ダウンライト形」「高天井形」のそれぞれ全てに登録対応器種を有するメーカーの製品とすること。なお当該メーカーは、日本国内に本社又は主要な保守・サポート拠点を有し、継続的な保守及び部品供給体制を有すること。(公共施設用照明器具に器種設定のない LED 直管ランプ等及びその他の LED 照明についても同様に、上記登録対応器種を有するメーカーが製造した製品とすること)
- カ 光源 (LED) 寿命は、40,000 時間 (光束維持率 70%) 以上の製品とすること。
- キ LED 光源は、設置環境に応じてグレアに配慮した配光特性を有するものとする。
- ク 交換する照明器具は、既設の建物に配慮して天井等建物の補修を必要としない器具を選定すること。また、既設天井材にアスベスト含有建材が使用されている可能性があるため、可能な限り天井材の改修工事を伴わない照明器具を選定すること。
- ケ 屋外、湿気、腐食性ガス等がある場所に設置する照明器具は、防水性、耐水性、耐候性、耐食性等を十分有するものを選定するものとし、施工にあたっては、設置環境に適した防水・防食措置等を講じること。
- コ 直付け照明器具を更新する場合は、既設照明器具の取付跡が見えないよう器具選定等により可能な限り配慮すること。
- サ 安定器を切り離した直結方式とする器具については、器具本体の見やすい位置に「LED 専用」「蛍光ランプ使用不可」等の表示を行うこと。

(2) 一体型ベースライト

- ア 一体型ベースライトの電源は、光源部 (ライトバー) に内蔵された製品とすること。
- イ 点灯スイッチ誤操作による予期せぬ調光・誤作動等を防止するため、オンオフ機能のみの製品とすること。

(3) 直管ランプ

- ア 直管型 LED ランプは G13 口金とし、JLMA301「AC 直管 G13 口金直管 LED 光源・安全規格」に適合した製品を原則とする。なお、規格外寸法品についても G13 口金を採用すること。
- イ 電源内蔵型かつ片側給電方式とする。
- ウ 既設安定器を切り離した直結配線とし、器具本体を交換することなくランプ交換が可能な管球交換方式とする。なお、器具本体の見やすい位置に「LED 専用」「蛍光ランプ使用不可」等の表示を行うこと。
- エ 施工性確保のため口金固定式とし、特殊照明を除く 40 形ランプの重量は 265g 以下とする。

(4) 高天井用照明器具

- ア 照明器具は、電源内蔵型とすること。
- イ 照明器具には、ワイヤー等による落下防止措置を講じること。
- ウ 専用の取付金具等が必要な照明器具については、専用金具を使用すること。
- エ 照明器具昇降装置（オートリフター）付きの場合は、既設昇降装置の電源ケーブルを分電盤の端子から離線し、撤去すること。
- オ 既設照明器具昇降装置（オートリフター）は撤去すること。なお、制御盤の残置は認めるものとする。ただし、制御盤の電源は分電盤側で離線のうえ絶縁処理を施し、制御盤には「使用不可」の表示を行うこと。

(5) 屋外照明器具

- ア LED 電源装置については、器具内蔵型、器具分離型の種類は問わないものとする。ただし、使用しない既存安定器等は、原則撤去処分とすること。
- イ 専用の取付金具等が必要な照明器具については、専用金具を使用すること。
- ウ 新設照明器具が、既設ポール等にそのままでは設置できない場合は、ポール取付用金具、アダプタ等を使用して取り付けること。

(6) その他 LED 照明器具、ランプ

別紙 1 の仕様を満足する製品とすること。

(7) 照明器具一覧表

落札者は、設置する照明器具一覧表を提出し、契約締結前までに発注者の確認を得ること。なお、発注者の確認後に契約を締結するものとする。
また、様式は任意とし、性能を確認できるカタログ等を併せて提出すること。

5 工事仕様

(1) 共通

- ア 受注者は、設置作業の着工前に既設器具の取付方法・状態等を現地調査の上、施工計画（実施工程表、作業体制表、安全管理計画、現場代理人届等の必要書類）を提出し、発注者の承諾を得なければならない。
- イ 設置前に現場調査、回路調査等を十分に行い、作業を実施すること。なお、調査等において仕様書との相違（数量、仕様等）があった場合は、費用及び対応方法について速やかに発注者に報告し、双方協議の上、決定するものとする。
- ウ 法令に基づき、契約後から工事着手前に開口等のアスベスト作業に抵触する箇所に関しては、石綿の使用有無について事前調査を行い、その調査結果を発注者に報告すること。なお、石綿の含有が確認できた場合の対策工事内容・費用については発注者と別途協議のうえで決定する。
- エ 停電を要する作業が発生する場合等、管理運営上必要な機能を停止する場合は、影響範囲、停電日時、仮設対応等を示した計画書を発注者に提出し、事前に日程調整を行うこと。
- オ 工事中は職員、入寮生、会館利用者等の安全確保に十分配慮し、作業方法及び作業日程について周知徹底を行うこと。また、作業に当たっての安全管理については、発注者と打合せを行い、受注者の負担で安全確保に必要な措置を講じること。
- カ 工事作業員の車や資材搬入、廃棄物の搬出等の運搬車の経路及び駐車位置について、事前に学生会館へ連絡すること。
- キ 受注者は、既設床、机、椅子、書棚等に傷・汚れなどをつけないように、シート合板・ゴムマット・ブルーシートなどで養生を行うこと。また、必要に応じて、工事範囲に限らず、通路及び資材置場の各部養生を行うこと。
- ク 作業にかかるパソコン等の貴重品の移設・養生については、事前に学生会館と協議すること。
- ケ 施工に使用する副資材は全て新品とする。（ただし、仮設材は、再使用品でも可とする。）
- コ 整備に当たり、各種法令を遵守すること。

(2) 設置工事

- ア 受注者は、既設照明器具を取り外した後、新設照明器具を設置し即日点灯させるものとする。
- イ 設置作業において発生する軽微な補修工事等については、本契約の作業範囲として受注者の負担で実施するものとする。
- ウ 設置作業の前後に当該照明回路の絶縁測定を実施し、作業による絶縁不良等がないことを確認すること。
- エ 既存の配線や吊材について劣化等が認められる場合には、発注者の指示に従い補修、交換を行うこと。軽微なものについては、本契約の作業範囲として受注者の

負担で対応すること。

- オ 直管ランプの更新を行う際に、ソケット不良等によりランプ交換が困難な場合は、本契約の作業範囲として受注者の責で交換すること。
- カ その他、設置作業において発生する軽微な工事、補修等については、本契約の作業範囲として実施するものとする。

(3) 撤去処分等

- ア 受注者は、既設の照明器具等を撤去し、撤去した照明器具等は関係法令に基づき適切な処分（水銀リサイクル等を含む。）を行うこと。
- イ 撤去された照明器具等の発生材の処理については、すべて施設外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切に処理することとし、検査においては、マニフェスト等より適正処理を確認するものとする。
- ウ 安定器にポリ塩化ビフェニル（PCB）が使用されていた場合、速やかに発注者へ報告し、対応を協議すること。
- エ 梱包材や既存照明器具等の撤去処分は受注者の負担とする。
- オ 工事に必要な電力、水道等の費用は発注者の負担とする。

6 完成図書

設置完了とともに以下の内容を取りまとめて完成図書として提出すること。

- ア 照明器具の仕様書、取扱説明書等
- イ メーカー出荷証明書（納入証明書）
- ウ 工事写真（施工状況写真及び完成写真）
- エ 各照明回路の絶縁抵抗測定結果一覧（工事前及び工事後の測定値）
- オ 照明器具一覧表、完成図面（照明プロット、機器完成図等）
- カ アフターフォロー体制表（連絡先、対応窓口を含む）
- キ 製品保証書（連絡先等記載）
- ク 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し
- ケ その他発注者が必要と認める図書

7 その他

- (1) 設置作業終了後から引渡しまでの間において、消灯等の不具合発生時の連絡先、担当者等を記載した仮対応体制表を発注者に提出するものとする。
- (2) 本仕様書に記載のない事項については、発注者及び受注者が協議の上、決定する。